

### 平成21年度予算の執行状況 (9月30日現在)

平成21年度予算の執行状況は、下表のとおりです。支払準備金の余剰資金は、大口定期預金などで運用しています。  
なお、年度内に歳計現金が不足した場合、それを補うために借り入れる「一時借入金」の現在高は、9月30日現在ありません。

#### 一般会計 歳入

款	予算現額	収入済額	執行率(%)
市 税	210億8,285万円	121億3,863万円	57.6
地方譲与税	2億9,500万円	9,508万円	32.2
交付金等	17億2,228万円	11億1,284万円	64.6
地方交付税	1,700万円	0	0.0
分担金及び負担金	5億6,219万円	1億4,446万円	25.7
使用料及び手数料	2億2,058万円	1億3,889万円	63.0
国庫支出金	60億6,239万円	19億4,388万円	32.1
県 支 出 金	18億9,478万円	5億5,921万円	29.5
財産収入	6億4,427万円	3,440万円	5.3
寄 附 金	1,133万円	489万円	43.2
繰入金	19億4,111万円	468万円	0.2
繰越金	21億2,832万円	21億5,822万円	100.0
諸 収 入	5億6,097万円	1億4,251万円	25.4
市 債	35億8,620万円	4億1,000万円	11.4
合 計	407億5,918万円	188億8,769万円	46.3

#### 一般会計 歳出

款	予算現額	支出済額	執行率(%)
議 会 費	2億9,528万円	1億4,237万円	48.2
総 務 費	64億6,687万円	36億2,350万円	56.6
民 生 費	107億3,365万円	51億6,006万円	48.1
衛 生 費	28億2,720万円	12億9,442万円	45.8
労 働 費	2億3,670万円	2億2,165万円	93.6
農 林 水 産 業 費	2億7,818万円	8,691万円	31.2
商 工 費	4億4,471万円	2億7,767万円	62.4
土 木 費	94億3,843万円	24億6,746万円	26.1
消 防 費	24億8,534万円	9億4,939万円	38.2
教 育 費	47億4,123万円	17億6,113万円	36.0
災 害 復 旧 費	1,000万円	0	0.0
公 債 費	25億8,677万円	12億934万円	46.8
諸 支 出 金	2億2,832万円	8,450万円	37.0
予 備 費	4,650万円	0	0.0
合 計	407億5,918万円	172億2,340万円	42.3

#### 特別会計

会計名	予算現額 A	歳 入		歳 出	
		収入済額 B	執行率 B/A (%)	支出済額 C	執行率 C/A (%)
国民健康保険事業	116億8,268万円	47億2,767万円	40.5	47億6,372万円	40.8
下水道事業	37億9,650万円	11億323万円	29.1	12億9,972万円	34.2
老人保健医療事業	7,046万円	6,028万円	85.6	48万円	0.7
介護保険事業	48億660万円	21億3,726万円	44.5	18億5,639万円	38.6
後期高齢者医療事業	9億1,886万円	3億9,830万円	43.3	3億2,094万円	34.9
合 計	212億7,510万円	84億2,674万円	39.6	82億4,125万円	38.7

#### 〔市有財産〕

区 分	〔単位:㎡〕	
	土 地	建 物
市 庁 舎	17,022.46	15,878.50
消 防 施 設	16,797.99	5,537.22
学 校	341,797.00	120,445.83
公 営 住 宅	15,680.58	4,008.64
保 育 園	9,232.48	2,257.64
公 民 館	0.00	1,866.25
公 園	361,571.77	21,015.36
その他の施設	171,104.02	60,054.16
小 計	933,206.30	231,063.60
田	909.85	
畑	4,641.30	
宅 地	21,670.07	
雑 種 地	8,236.06	
その他の地目	3,660.58	
建 物		459.39
小 計	39,117.86	459.39
合 計	972,324.16	231,522.99

(※)建物以外、公簿地目で分類しています

#### 〔基金〕

基金名	現在高	備 考
財政調整基金	28億141万円	現金・債券
奨 学 金 基 金	1億679万円	〃
まごころ基金	5,077万円	現 金
環 境 基 金	4,435万円	〃
市営住宅建設基金	4億6,726万円	〃
新まちづくり基金	49億8,887万円	現金・債券
市債管理基金	1億2,033万円	現 金
国民健康保険財政調整基金	8億7,227万円	〃
介護保険給付費等準備基金	5億929万円	〃
介護従事者処遇改善臨時特例基金	6,363万円	〃

(※)基金は、大口定期預金・国債等で運用しています

#### 〔市債〕

会計	区 分	現在高
一 般 会 計	総 務 債	17億7,889万円
	民 生 債	2億974万円
	衛 生 債	4億1,455万円
	土 木 債	88億4,605万円
	消 防 債	1億7,550万円
	教 育 債	19億3,043万円
	住民税等減税補てん債	31億5,505万円
	臨時税収補てん債	3億2,657万円
	臨時財政対策債	37億6,352万円
	合 計	206億30万円
特 別 会 計	下 水 道 事 業	
	公 共 下 水 道 債	121億7,889万円
	流 域 下 水 道 債	25億1,608万円
合 計	146億9,497万円	

## 財産などの状況

9月30日現在

## わがまちの財政事情

# 平成20年度決算の概要

### 市民一人当たりの決算額

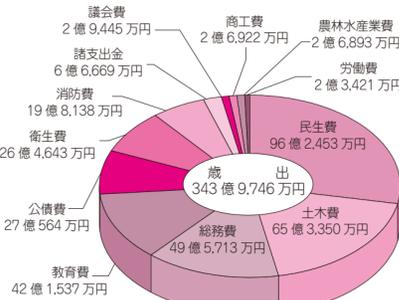
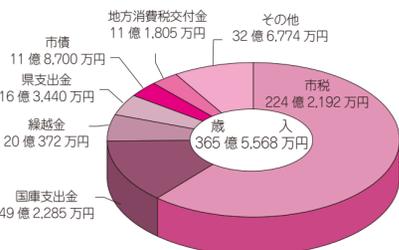
・歳入 290,500円  
・歳出 273,349円

※一般会計の歳入・歳出決算額をそれぞれ人口125,837人(平成21年4月1日現在)で割った金額です。また、割合は小数点以下第2位を四捨五入で算出

#### 《歳出の内訳》

- 福祉・社会生活保障に (民生費) 76,484円(28.0%)
- 道路・公園・計画的なまちづくりに (土木費) 51,920円(19.0%)
- 行政の運営に (総務費) 39,393円(14.4%)
- 学校や生涯学習に (教育費) 33,499円(12.3%)
- 市債の元金や利子の償還に (公債費) 21,501円(7.9%)
- 保健・ごみ処理などに (衛生費) 21,031円(7.7%)
- 防災や救急などに (消防費) 15,746円(5.8%)
- 基金の積み立てなどに (諸支出金) 5,298円(1.9%)
- 議会の運営などに (議会費) 2,340円(0.9%)
- 商工業の振興などに (商工費) 2,139円(0.8%)
- 農業・園芸の振興などに (農林水産業費) 2,137円(0.8%)
- 雇用対策などに (労働費) 1,861円(0.7%)

### 一般会計の内訳



歳入では、急激な景気後退の影響で市税が5年ぶりに減少し、224億2,192万円(15割減)となりました。また、国・県支出金が65億2,285万円(17.9割増)となり、市債は11億8,700万円(1割増)、歳入は365億5,568万円(1割増)、歳出は343億9,746万円(0.7割増)となりました。

歳入では、急激な景気後退の影響で市税が5年ぶりに減少し、224億2,192万円(15割減)となりました。また、国・県支出金が65億2,285万円(17.9割増)となり、市債は11億8,700万円(1割増)、歳入は365億5,568万円(1割増)、歳出は343億9,746万円(0.7割増)となりました。

※1 基準以上となった項目は、早期健全化計画を定めることが義務付けられる基準

※2 基準以上となった項目は、早期健全化計画を定めることが義務付けられる基準

### 図 財政課 (☎235・8453)

#### 会計別決算

平成20年度の決算では、一般会計と五つの特別会計を合わせた決算額は、歳入567億4,765万円(前年度比3.8割減)、歳出が536億2,652万円(同5.2割減)となりました。

歳入は365億5,568万円(1割増)、歳出は343億9,746万円(0.7割増)となりました。

歳入では、急激な景気後退の影響で市税が5年ぶりに減少し、224億2,192万円(15割減)となりました。また、国・県支出金が65億2,285万円(17.9割増)となり、市債は11億8,700万円(1割増)、歳入は365億5,568万円(1割増)、歳出は343億9,746万円(0.7割増)となりました。

#### 国民健康保険事業

国民健康保険事業は、歳入が365億5,568万円(1割増)、歳出は343億9,746万円(0.7割増)となりました。

国民健康保険事業は、歳入が365億5,568万円(1割増)、歳出は343億9,746万円(0.7割増)となりました。

## 財政の健全性問題なし

財政健全化法に

#### 〔健全化判断比率〕

	健全化判断比率 (())は市の基準値=早期健全化基準)	備 考
実質赤字比率①	— (12.07%)	赤字はありません
連結実質赤字比率②	— (17.07%)	赤字はありません
実質公債費比率③	2.7% (25.0%)	
将来負担比率④	— (350.0%)	計上されません

#### 〔資金不足比率〕

公営企業会計名	資金不足比率⑤ (())は市の基準値=経営健全化基準)	備 考
下水道事業特別会計	— (20.0%)	資金不足はありません

①実質赤字比率…一般会計の実質的な赤字の程度を比率化したもの  
②連結実質赤字比率…一般会計および5特別会計の赤字・黒字を合算した、会計全体の実質的な赤字の程度を比率化したもの  
③実質公債費比率…一般会計が負担する公債費および公債費に準じた経費の程度を比率化したもの  
④将来負担比率…一般会計が将来負担すべき実質的な負債(市債残高や退職手当支給予定額など)の程度を比率化したもの  
⑤資金不足比率…公営企業である下水道事業特別会計の資金不足の程度を比率化したもの  
※各比率は、本市の特別会計の設置状況等に即して、表記しています

### 平成20年度会計別決算

会計名	歳入決算額	対前年度伸率(%)	歳出決算額	対前年度伸率(%)
一 般 会 計	365億5,568万円	1.1	343億9,746万円	0.7
特 別 会 計				
国民健康保険事業	111億846万円	7.6	106億879万円	3.5
下 水 道 事 業	34億8,902万円	△5.2	32億7,953万円	△4.5
老人保健医療事業	6億144万円	△87.8	5億5,315万円	△88.8
介護保険事業	42億628万円	7.8	40億2,152万円	7.0
後期高齢者医療事業	7億8,677万円	皆増	7億6,607万円	皆増
小 計	201億9,197万円	△11.6	192億2,906万円	△14.1
合 計	567億4,765万円	△3.8	536億2,652万円	△5.2

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります

## 平成20年度主な実施事業

- えびなの森創造事業費 1,179万円  
環境に対する意識を高めるため、市民・企業・行政が協力し、平成23年度までに12万5000本を目指して植樹を行います(20年度は2万7279本を植樹)
- 防犯灯再整備事業費 3,410万円  
犯罪抑止を図るため、市内に設置してある防犯灯で、耐用年数が経過した物を順次、より明るく消費電力の少ない型式へ変更しました
- 小児医療費助成事業費 3億5,540万円  
小児の福祉増進と保護者の医療費負担軽減のため、平成20年7月から、小児医療費の入院・通院分について、助成対象を小学6年生までに拡大しました
- 民営鉄道駅舎垂直移動施設整備事業費 3,333万円  
障がい者などが、安心して自立した生活を送れるようにするため、民営鉄道事業者が実施する駅舎のエレベーター整備経費に対して補助を行いました
- 特定健康診査補完事業費 3,530万円  
メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防・改善を目的として、市が行う特定健康診査の必須検査項目に市独自の検査項目を追加したほか、市独自となるメタボリック予防健康診査を実施しました
- 市民農園整備事業費 202万円  
農業に親しむ機会の提供と遊休農地の有効活用のため、市民農園を整備したほか、営農講習会や稲作体験などを実施しました
- 鉄道立体交差事業費 5億6,584万円  
踏切による交通渋滞および鉄道による地域分断を解消するため、鉄道高架化の工事を実施しました
- 河原口勝瀬線整備事業費 1億6,790万円  
海老名インターチェンジ開通後の自動車交通への対応と、交通渋滞の解消を図るため、平成21年度の完成に向け、測量・工事等を実施しました
- 海老名駅自由通路整備(小田急相鉄駅舎部)事業費 12億2,416万円  
海老名駅自由通路を整備し、バリアフリー化の推進や乗り継ぎの安全性・利便性の向上を図りました
- 消防署北分署整備事業費 4,740万円  
市北部地区の消防力強化と、大地震などの災害対応拠点として機能するよう、消防署北分署の移転整備工事を開始しました
- 小中学校校舎トイレ改修事業費 2億8,493万円  
汚い、暗いなどのイメージを一新し、衛生環境に配慮するとともに、児童、生徒が使いやすい形式に改修しました
- 外国語教育推進事業費 3億1,642万円  
小中学校に英語指導講師を派遣し、英語を通じた実践的コミュニケーション能力の基礎を培うとともに、国際文化への関心や理解を深めました